

# みえ 県議会新聞

平成28年度(2016年度)NO.2 (発行 三重県議会広聴広報会議) (企画・制作 伊勢新聞社)

## 10大ニュースに見る議会の1年

平成28年三重県議会の活動

12月22日の議長定例記者会見で、県民の皆さんと議員で選んだ「平成28年三重県議会10大ニュース」を発表しました。これに基づいて、三重県議会の基本取組とともに1年間の活動内容を紹介します。

### 開かれた議会運営の実現

#### 2月 「みえ現場de県議会～鳥獣害に強い地域づくり～」を開催

県議会では、多様な県民の意見を県議会に取り入れるため、平成22年度から「みえ現場de県議会」に取り組んでいます。

2月5日に松阪市嬉野ふるさと会館で、「鳥獣害に強い地域づくり」をテーマに開催しました。鳥獣害対策等に関わっている方や一般公募の方から鳥獣害対策の現状や課題、暮らしと産業を守るための提案などの発言があり、意見交換を行いました。

みえ現場de県議会の様子(松阪市嬉野ふるさと会館)



#### 4月 「みえ県議会だより」の新聞折込を開始

4月から県議会情報をお知らせする「みえ県議会だより」を、新聞折り込みにより県民の皆さんにお届けすることを開始しました。これにより、県議会だより発行月の第一日曜日に、県内全域一斉にお届けすることができるようになりました。また、多くの方に「みえ県議会だより」を手にとっていただけるように、県・市町の公共施設や、ショッピングセンターなどへも配置しています。



#### 5月、11月 議会の情報発信をスマートフォンに対応

三重県議会では本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例記者会見などの動画を、インターネットにより配信しています。県民の皆さんがどこからでもご覧いただけるよう、5月からスマートフォンやタブレット端末での動画の視聴が可能になりました。

また、11月にはスマートフォン用の三重県議会ホームページと広報紙「みえ県議会だより」も公開しました。



▲スマートフォンでの動画視聴

▼スマートフォン用HP

#### 8月 「みえ高校生県議会」を開催

高校生に議会活動の体験を通じて議会への関心を高めるとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくことを目的に、8月19日に「みえ高校生県議会」を開催しました。高校生が議場で質問し、県議会議員が答弁するという内容で、質問する高校生は県内の高校などから募集し、16校の生徒52人が参加しました。

質問項目は、いずれも県政にとって大変重要な項目が上げられ、その内容は高校生の視点で考え、まとめられており、本県議会にとって大変貴重なご意見でした。



#### 9月 手話通訳付き「みえ高校生県議会」録画中継を配信

8月に開催した「みえ高校生県議会」の録画中継に、ろう者の方にも見ていただけるように手話通訳を挿入し、配信を開始しました。三重県議会では、従来から、傍聴席での手話通訳については要望があれば行っていますが、インターネットの録画中継に手話通訳を付けたのは初めての試みです。



### 住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

#### 5月 「子どもの貧困対策調査特別委員会」を設置

5月に「子どもの貧困対策調査特別委員会」を設置しました。委員会では、子どもを取り巻く環境を改善するため、今現在、困っている子どもたちやその家庭がどのような状況にあり、どのような支援を必要としているのかなどについて調査を行っていくこととし、7月から10月には、県内外調査や参考人招致を行いました。また、12月には中間報告を行うなど活動を行っています。

児童養護施設 里山学院(津市)での調査



#### 5月 「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を設置

5月に「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を設置しました。委員会では、サミットの効果を一過性にせず、これからの三重県の姿をどう描いていくのか、人や食、産業といった本県の力をどのように向上させていくのかといった課題について調査を行っていくこととし、9月には、これまでの議論をまとめた中間報告を行いました。10月には参考人招致や県内調査を実施するなど、活動を続けています。



### 独自の政策提言と政策立案の強化

#### 3月 「第76回国民体育大会の開催に関する決議」を全会一致で可決

平成33年に本県で46年ぶりの開催を目指す第76回国民体育大会は、現在開催準備に取り組んでいるところです。三重県議会は、三重県で開催されるよう、県民の総意に基づき強く要望するため、3月に「第76回国民体育大会の開催に関する決議」を全会一致で可決しました。7月には、三重県が開催地として公益財団法人日本体育協会理事会から内定されました。



国体マスコットキャラクターとこまる

#### 6月 三重県手話言語条例(議員提出条例)を制定

手話は、物の名前などを手や指の動きなどを使って視覚的に表現するもので、ろう者にとっての声と言ふべきものです。しかし、手話に対する県民の理解や手話通訳を行う人材の確保が十分でない状況にあります。県議会では、平成27年10月に「三重県手話言語に関する条例検討会」を設置し、計12回の会議などを経て取りまとめた条例案を議員提出議案として提出し、6月30日に全会一致で可決しました。本条例は、手話が言語であるとの認識に基づいて、手話に関する施策を総合的・計画的に推進することにより、共生社会の実現を図ることとしています。

先行事例調査(鳥取県)



### 分権時代を切り開く交流・連携の推進

#### 11月 「第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム」を開催

11月9日に、「議会基本条例が開く議会の未来」をテーマとして、「第8回全国自治体議会改革推進シンポジウム」を開催しました。まず、東京大学大学院教授の金井利之氏が基調講演を行い、その後、新川達郎氏(同志社大学大学院教授)のコーディネートにより金井利之氏、目黒章三郎氏(会津若松市議会議長)、小林華弥子氏(由布市議会議員)、三谷 哲央(三重県議会議会改革推進会会長)がパネリストとなって活発な議論を行いました。

基調講演の様子



### 〈参考〉10大ニュース部門別 投票結果

県民のみなさんや議員で得票数が多かったのは次の項目でした。

eモニター*	ホームページ閲覧者・議会傍聴者	議員
1位 「サミットを契機とした地域の総合力向上調査特別委員会」を設置	1位 「みえ高校生県議会」を開催	1位 三重県手話言語条例(議員提出条例)を制定
2位 「子どもの貧困対策調査特別委員会」を設置	2位 「子どもの貧困対策調査特別委員会」を設置	2位 「みえ高校生県議会」を開催
3位 「みえ県議会だより」の新聞折込を開始	3位 三重県手話言語条例(議員提出条例)を制定	3位 「子どもの貧困対策調査特別委員会」を設置

\*eモニター：インターネットを使った県全体の広聴システムで約1360人が登録

### 議長・副議長 ごあいさつ



議長 中村 進一



副議長 日沖 正信

県民の皆さまには、日頃から県議会の運営につきましてご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今年も三重県議会では、二元代表制のもと、議会としての役割を果たすべく、さまざまな活動に取り組んでまいりました。特に、三重県における手話の普及の施策に関しては、昨年設置しました「三重県手話言語に関する条例検討会」において条例の制定に向けた調査及び検討を重ね、6月に議員提出条例である「三重県手話言語条例」を制定しました。また、5月に開催された伊勢志摩サミットを契機

とした地域の総合力向上や、子どもの貧困対策といった喫緊の課題については、それぞれ特別委員会を設置し、参考人から意見を聴取するなど精力的に調査を行っているところです。さらに「みえ高校生県議会」、「みえ現場de県議会」の開催や、議会ホームページ等をスマートフォン対応にするなど、広聴広報活動にも積極的に取り組んでいます。今後も三重県議会では、議会改革をさらに推進し、県民福祉の向上につながるよう、その責務をしっかりと果たしていきたいと考えておりますので、よろしくごお願い申し上げます。